

平成23年11月2日（水） 公共施設再生へ向けたシンポジウム
パネルディスカッション・意見交換要旨

各パネラーより、習志野市との関わり・公共施設再生問題への考え方等を交え、自己紹介を行った後、

①習志野における公共施設再生とはどうあるべきか

②市庁舎の建替えについて

（今の時代の市庁舎はどんな施設であるべきか、どんな機能を持つべきか）

の2点について、意見交換を行った。

その後、会場との意見交換を行い、3名の参加者より意見が述べられた。

パネルディスカッションの主な論点

■公共施設再生について習志野市は先進的な取り組みを行っている

・全国的に見ても、習志野市は公共施設再生への取り組みは「トップランナー」であり、全国の自治体から先進市として注目されている。

■多機能化・複合化による施設の統廃合が必要である

・財政難から、すべての施設の更新費用は確保できないことから、施設の機能を見直し、多機能化・複合化を図ることによって、統廃合をしていくことが必要である。

・中央区の明正小学校の例・・・3～5階を小学校、1，2階を幼稚園や児童館、学童保育等として利用し、それぞれの施設が分担して責任を負う形での建替えを行うことになっている。

・図書館の多機能化・複合化の例・・・図書館にかかるコストを見直す観点から、カフェやレストラン、貸出の個人用研究スペースなど、民間による有料の部分を図書館に併設することで、より魅力ある施設としての建替えが検討されている。

・公共施設の利用率はアクセスの距離に反比例するが、施設の魅力には比例する。統廃合により、施設の距離が多少遠くなったとしても、それを上回る施設の魅力があれば、利用率が下がることはない。

■新市庁舎の今後について

①防災拠点としての重要性

・東日本大震災によって、防災拠点としての庁舎の役割が再認識された。行政には、住民の命と安全を守る役割があることから、建替えにあたっては、防災機能は最優先に確保すべきである。

・災害時に一番求められるのは「平場の床」である。茅ヶ崎市の例では、防災機能として、普段はワンフロアの平場の床をパーティションで区切って打ち合わせスペース等に利用し、災害時にはそれを取り払って、災害対策本部として利用する形での建替えが検討されている。

②機能の見直しによる複合化・多機能化

- ・100年先を見据えて、市庁舎に求められる機能・スペース等を考える必要がある。
- ・緊迫した財政状況の中で、何としても確保すべき機能はなにか、その実現のために必要なものはなにか、緊急かつ腰を入れて検討して新庁舎について議論すべきである。
- ・窓口で市民が来る頻度によって、市民に開かれた場所と専門的な場所を分けて考え、専門的な部署については、スリム化して建築する等の工夫も必要である。

③民間活力導入による建替え

- ・市の財政状況から、民間活力を導入し、市の負担を軽減して建て替えを行うべきである。

④市の誇りとなるような市庁舎

- ・自分たちのまちに愛着と誇り、「シビックプライド」が持てるよう、そのランドマークとなり得るような市庁舎の建設が必要である。

⑤建替えの意思決定を行う組織の必要性

- ・このような問題は、総論では合意形成が図れているが、各論になると色々反対が出てくることがある。縦割り行政では、まとまる話もまとまらない。横断的に問題を把握し、将来を決定する組織が必要である。
- ・各論に賛成で総論へ反対という場合も出てくる。部分最適の合算が全体最適になるとは限らないので、全体を調整する組織が必要である。

意見交換の主な論点

○意見

- ・近隣市で、公共施設再生の問題についての行政と市民の勉強会に、民間の立場から参加している。公共施設の再生については、習志野市とまったく同じ状況である。根本先生の講演を参考にしていきたい。
- ・建設のコストについては、民間の平米単価の世間相場も参考に、資金計画・返済計画を立てると良いと思う。
- ・様々な意見があったが、その結果、どのような公共施設ができるのか、パースとして見せていただきたいと思った。

○質問

- ・公共施設再生計画検討専門協議会の中で明らかになった問題点を示していただきたい。
→資料中「習志野市公共施設再生計画策定に対する提言書」に問題点とその解決策の案が掲載されているので参照していただきたい（根本氏回答）。
- ・習志野市が日本一老朽化していると聞き、他市との比較による根拠が知りたいと思った。
→これまで調査した市町村の中では、一番古いということである（根本氏回答）。
- ・多機能化・複合化については、すべてゼロベースで考えるのか。
→ゼロベースで考えた方がよいものもある。広域化によって対応した方がよいものもあり、ケースバイケースである（根本氏回答）。